

令和5年度 がん検診精度管理向上研修会

精度管理センター事業紹介2023

精度管理センターをご存じですか？

～がん検診事業の支援窓口です～

大阪がん循環器病予防センター
調査室

精度管理センターについて

Q1.精度管理センターって何？

A1. 市町村のがん検診の精度管理向上や受診率向上のために、大阪府が大阪がん循環器病予防センターに委託している事業名のことです。
市町村へのがん検診に関する支援・調査などを実施しています。

Q2.精度管理センターは、どこにあるの？

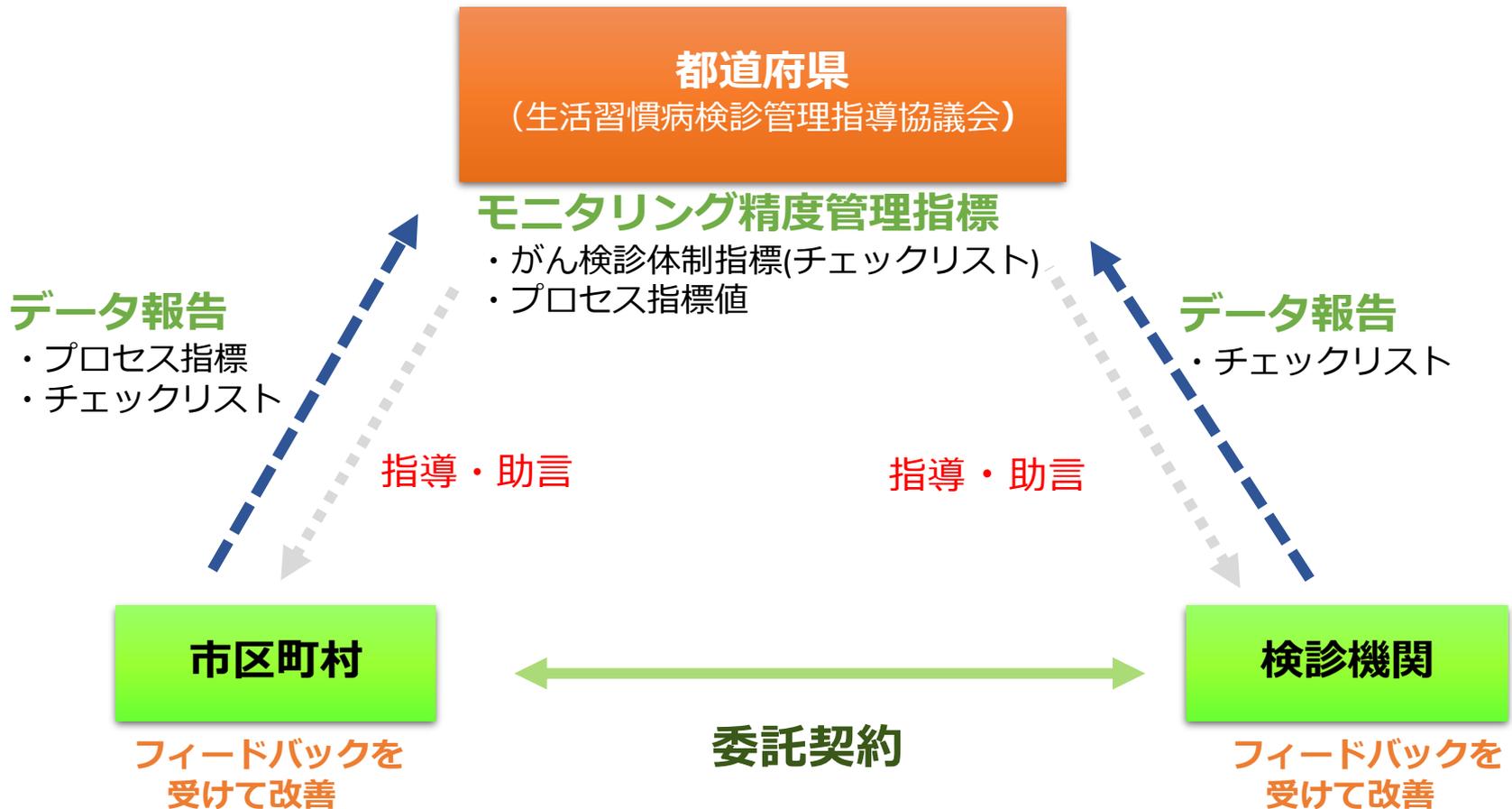
A2. 事業名なので、建物やお部屋があるわけではなく、大阪がん循環器病予防センターの調査室で事業を実施しています。
お電話をいただいた際には、「大阪がん循環器病予防センターです。」と応答しますが、間違いではありません。

Q3.精度管理センターには、誰がいるの？

A3. 保健師2名と看護師1名。それから、事務の方2名が全メンバーです。
ただし、事業内容によっては、大阪がん循環器病予防センターの医師・コメディカルの協力も得ています。

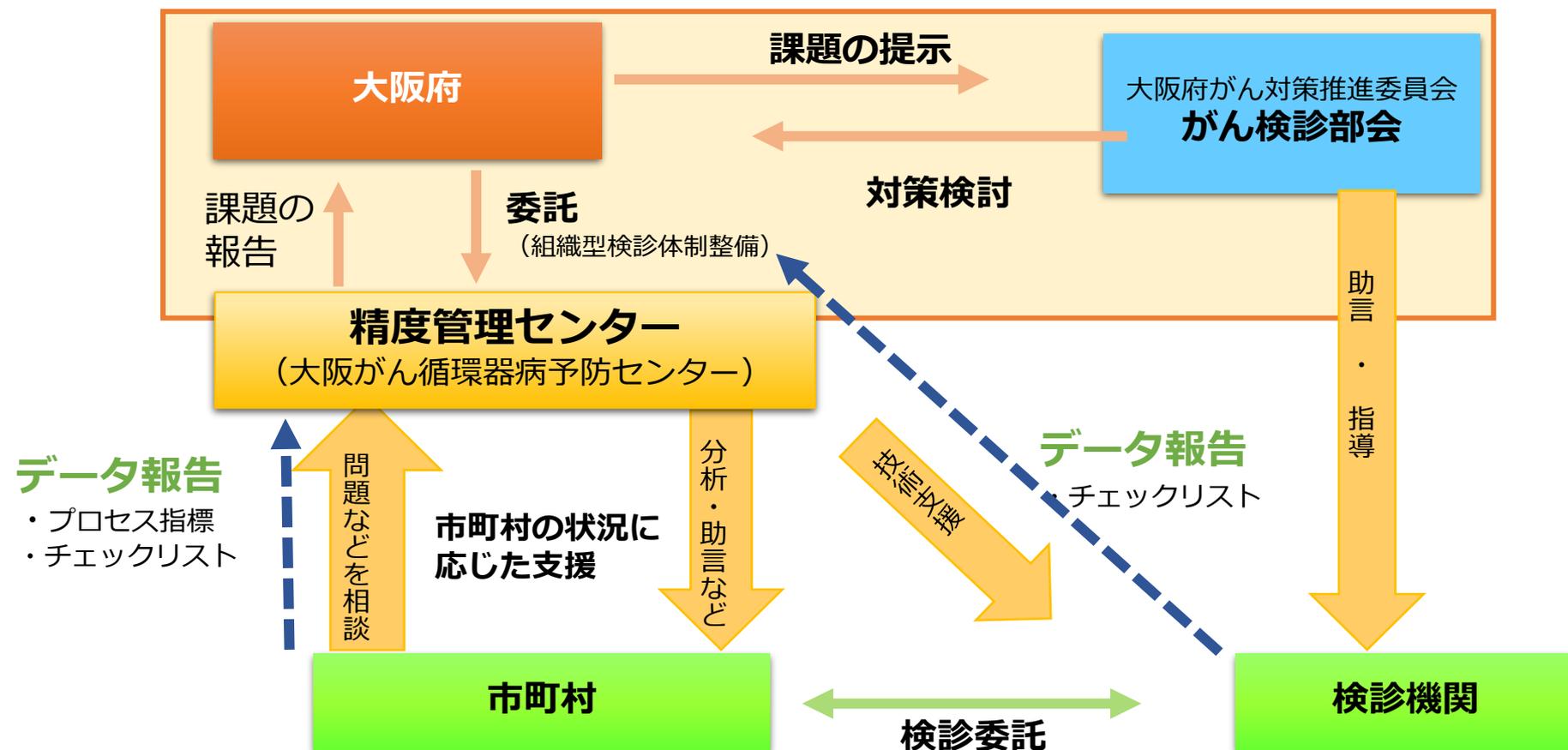
自治体における精度管理体制

「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について 報告書」では、都道府県は、精度管理指標を用いて事業評価を行い、その結果に基づき市町村・検診機関に対し、指導・助言を行うとされています。



大阪府における精度管理体制

大阪府では、具体的で実現可能な指導・助言が出来るように、精度管理センターを設置しています。精度管理センターは、委託元である大阪府と協力しながら、大阪府全体として取り組むべき課題などの抽出も行っています。



正確ながん検診データの収集と蓄積

がん検診の精度管理の第一歩は、プロセス指標を把握・評価することです。

大阪府では、「精度管理システム」を運用し、府内全体のプロセス指標のモニタリングを行っています。

大阪府精度管理システムの運用

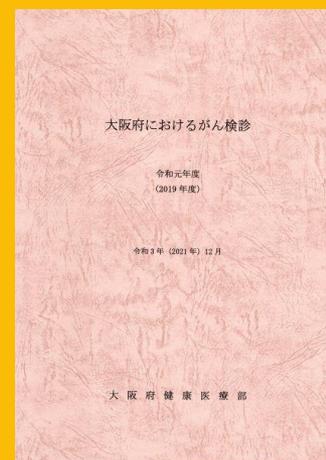
- ・精度管理システムの構築・管理
- ・データの集約・蓄積を行う



精度管理指標の分析に利用

- 例) 医療機関別集計表作成
- 精度管理不良市町村の把握

「大阪府におけるがん検診」冊子を作成し、府内市町村・関係機関に配付。



令和3年度版を送付しています。

新しいプロセス指標への対応

令和5年6月厚生労働省 がん検診のあり方に関する検討会より「がん検診事業のあり方について」が公表されました。

平成20年以降、がん検診のプロセス指標は改善しており、基準値が見直されています。

年齢階級別 / 初回・非初回別に細分化された基準値が設定されています。

検診種類	基準値の対象年齢
胃がん	50-74 (69) 歳
大腸がん	
肺がん	40-74 (69) 歳
乳がん	
子宮がん	20-74 (69) 歳 / 20-39歳 / 40-74 (69) 歳

大阪府全体・各市町村別の指標が出せるように、精度管理システムを変更しています。令和4年度以降は、「大阪府におけるがん検診」冊子内のCDデータを活用ください。

精度管理指標の分析について

チェックリストでは、検診機関ごとにプロセス指標を集計、フィードバックすることを求められていることはご存じですか？

精度管理センターでは大阪府の精度管理システムを用い、市町村毎に医療機関別の集計が可能です。

【〇〇市 大腸がん医療機関別精度管理指標 <<平成25年度～平成26年度>>】

医療機関名	受診者数	要精検者数	要精検率	未受診者数	未受診率	未把握	精検受診者数	精検受診率	がんであった者	異常なし	がん発見率	早期がん	早期がん割合	陽性反応適中度
Aクリニック	1,922	141	7.3%	25	17.7%	1	115	81.6%	5	37	0.26%	3	60.0%	3.5%
B病院	1,558	109	7.0%	23	21.1%	0	86	78.9%	4	19	0.26%	1	25.0%	3.7%
C医院	1,515	89	5.9%	41	46.1%	0	48	53.9%	0	9	0.00%	0	0.0%	0.0%
D内科	1,098	71	6.5%	10	14.1%	0	61	85.9%	4	2	0.36%	0	0.0%	5.6%
E診療所	893	74	8.3%	25	33.8%	3	46	62.2%	8	5	0.90%	0	0.0%	10.8%
Fクリニック	827	205	24.8%	103	50.2%	30	72	35.1%	0	12	0.00%	2	0.0%	0.0%
G病院	661	110	16.6%	33	30.0%	11	66	60.0%	0	25	0.00%	0	0.0%	0.0%
H病院	642	63	9.8%	31	49.2%	4	28	44.4%	2	3	0.31%	0	0.0%	3.2%
I診療所	626	55	8.8%	25	45.5%	0	30	54.5%	0	3	0.00%	2	0.0%	0.0%
Jクリニック	593	52	8.8%	3	5.8%	0	49	94.2%	3	11	0.51%	1	33.3%	5.8%
Kクリニック	551	46	8.3%	7	15.2%	0	39	84.8%	6	1	1.09%	0	0.0%	13.0%
L病院	543	37	6.8%	25	67.6%	0	12	32.4%	0	2	0.00%	1	0.0%	0.0%
M診療所	510	52	10.2%	27	51.9%	0	25	48.1%	4	2	0.78%	0	0.0%	7.7%
N内科	457	43	9.4%	9	20.9%	1	33	76.7%	4	3	0.88%	0	0.0%	9.3%
O診療所	374	31	8.3%	13	41.9%	0	18	58.1%	0	2	0.00%	0	0.0%	0.0%
P医院	372	35	9.4%	13	37.1%	1	21	60.0%	1	2	0.27%	0	0.0%	2.9%
Q胃腸科	370	27	7.3%	19	70.4%	1	7	25.9%	0	1	0.00%	0	0.0%	0.0%
R診療所	363	25	6.9%	16	64.0%	0	9	36.0%	2	1	0.55%	0	0.0%	8.0%
S医院	362	44	12.2%	38	86.4%	0	6	13.6%	1	2	0.28%	0	0.0%	2.3%
T医院	352	44	12.5%	25	56.8%	0	19	43.2%	2	1				4.5%
Uクリニック	312	26	8.3%	1	3.8%	0	25	96.2%	0	0	0.00%	0	0.0%	0.0%
V医院	311	0	0.0%								0.00%	0	0.0%	
W病院	265	16	6.0%	10	62.5%	2	4	25.0%	0	0	0.00%	0	0.0%	0.0%
X医院	265	15	5.7%	4	26.7%	0	11	73.3%	0	2	0.00%	1	0.0%	0.0%
Y診療所	249	29	11.6%	20	69.0%	3	6	20.7%	0	1	0.00%	0	0.0%	0.0%
Z内科	164	13	7.9%	4	30.8%	0	9	69.2%	1	1	0.61%	0	0.0%	7.7%
A A診療所	152	9	5.9%	2	22.2%	0	7	77.8%	0	0	0.00%	1	0.0%	0.0%
A B医院	140	3	2.1%	0	0.0%	0	3	100.0%	0	0	0.00%	0	0.0%	0.0%
A Cクリニック	116	10	8.6%	0	0.0%	0	10	100.0%	0	4				0.0%
A Dクリニック	93	9	9.7%	2	22.2%	0	7	77.8%	1	2				11.1%
A E病院	90	7	7.8%	0	0.0%	0	7	100.0%	0	1	0.00%	0	0.0%	0.0%
A F医院	89	0	0.0%								0.00%	0	0.0%	
A G病院	87	0	0.0%								0.00%	0	0.0%	
A H医院	85	25	29.4%	11	44.0%	0	14	56.0%	0	2	0.00%	0	0.0%	0.0%
A Iクリニック	82	6	7.3%	1	16.7%	0	5	83.3%	1	1	1.22%	0	0.0%	16.7%
A J医院	70	7	10.0%	1	14.3%	0	6	85.7%	1	2	1.43%	0	0.0%	14.3%
A K診療所	25	1	4.0%	0	0.0%	0	1	100.0%	0	0	0.00%	1	0.0%	0.0%
A L医院	21	3	14.3%	1	33.3%	0	2	66.7%	1	0	4.76%	0	0.0%	33.3%
A M内科	19	3	15.8%	1	33.3%	0	2	66.7%	0	0	0.00%	0	0.0%	0.0%
A Nクリニック	18	2	11.1%	0	0.0%	0	2	100.0%	0	1				0.0%
A O医院	16	1	6.3%	0	0.0%	0	1	100.0%	0	1				0.0%
個別検診 計	17,258	1,538	8.9%	569	37.0%	57	912	59.3%	51	161	0.30%	13	25.5%	3.3%
検診センター	2,374	156	6.6%	22	14.1%	2	132	84.6%	10	25	0.42%	3	30.0%	6.4%

医療機関別での精度管理指標の確認が可能となり、市のがん検診の課題がより明確になります。

また、複数年を合算した集計もでき、年間受診者数の少ない機関の分析も可能です。

要精検率(7%以上)44機関中28機関
 精検受診率(70%未満)44機関中26機関
 要精検者数(1以上)39機関中 精検受診率(70%未満)21機関

精度管理委員会開催への支援

精度管理委員会報告に必要な資料やデータ作成のお手伝いしています。

集計年度	市町村	年齢	検診方式	履歴	検診結果 (視触診)	検診結果 (マンモ)	検診機関	精検結果	がんの種類	TNM分類 (T)	TNM分類 (N)	TNM分類 (M)	臨床病期
2014	〇〇町	60	集団	非初回	異常なし	カテゴリ-3	保健センター	がん	早期がん	T 1	N 0	M 0	I 期
2014	〇〇町	47	個別	初回	要精検	カテゴリ-4	健診センター	がん	進行がん	T 3	N 1	M 0	Ⅲ A 期
2014	〇〇町	54	個別	初回	要精検	カテゴリ-5	□□病院	がん	早期がん	T 0	N 0	M 0	I 期
2014	〇〇町	69	集団	初回	要精検	カテゴリ-4	保健センター	がん	早期がん	T 0	N 0	M 0	I 期
2014	〇〇町	77	個別	非初回	異常なし	カテゴリ-3	□□病院	がん	早期がん	T 0	N 0	M 0	I 期
2014	△△市	61	集団	初回	要精検	カテゴリ-3	保健センター	がん	早期がん	T 1	N 0	M 0	I 期
2014	△△市	55	集団	初回	異常なし	カテゴリ-3	保健センター	がん	早期がん	T 1	N 0	M 0	I 期
2014	△△市	71	集団	非初回	異常なし	カテゴリ-3	保健センター	がん	早期がん	T 1	N 0	M 0	I 期
2014	△△市	52	集団	非初回	要精検	カテゴリ-4	保健センター	がん	進行がん	T 2	N 0	M 0	Ⅱ A 期
2014	△△市	62	集団	初回	異常なし	カテゴリ-3	保健センター	がん	進行がん	T 2	N 0	M 0	Ⅱ A 期
2014	△△市	58	集団	初回	異常なし	カテゴリ-4	保健センター	がん	非浸潤がん	T i s	N 0	M 0	0 期
2014	△△市	53	集団	初回	異常なし	カテゴリ-4	保健センター	がん	非浸潤がん	T i s	N 0	M 0	0 期
2014	△△市	47	個別	初回	要精検	カテゴリ-4	〇〇医院	がん	早期がん	T 1	N 0	M 0	I 期
2014	△△市	61	個別	初回	要精検	カテゴリ-4	〇〇医院	がん	早期がん	T 1	N 0	M 0	I 期
2014	△△市	61	集団	非初回	異常なし	カテゴリ-3	保健センター	がん	早期がん	T 1	N 0	M 0	I 期
2014	△△市	74	個別	初回	要精検	カテゴリ-3	□□病院	がん	早期がん	T 1	N 0	M 0	I 期
2014	△△市	64	個別	初回	異常なし	カテゴリ-5	□□病院	がん	進行がん	T 2	N 0	M 0	Ⅱ A 期
2014	△△市	62	集団	非初回	異常なし	カテゴリ-4	保健センター	がん	進行がん	T 2	N 0	M 0	Ⅱ A 期
2014	〇×市	44	個別	初回	要精検	カテゴリ-4	〇〇医院	がん	早期がん	T 0	N 0	M 0	0 期
2014	〇×市	67	集団	非初回	異常なし	カテゴリ-3	保健センター	がん	非浸潤がん	T i s	N 0	M 0	0 期
2014	〇×市	66	個別	初回	異常なし	カテゴリ-5	〇〇医院	がん	早期がん	T 1	N 0	M 0	I 期
2014	〇×市	47	個別	非初回	要精検	カテゴリ-3	〇〇医院	がん	早期がん	T 1	N 0	M 0	I 期
2014	〇×市	66	個別	初回	異常なし	カテゴリ-3	健診センター	がん	早期がん	T 1	N 0	M 0	I 期

がん一覧のデータ提供

症例検討の際に活用される市町村が多い。
市のがん検診での発見がん数や進行度を一覧にすることで検診の振り返りができます。

問診票や実施要領等の作成支援

【問診票の場合】

ふりがな		生年月日	昭和 年 月 日 (歳)
氏名	様	職業	
電話番号			

次の質問のあてはまるところを○で囲み、____部を記入してください。

1. 今までに、乳がん検診を受けたことがありますか？
 なし ・ あり (前回検診日 平成 ____年 ____月頃
 どこで 保健センターで ・ その他(____)で)
 検査の種類 視触診のみ ・ 視触診+超音波検査 ・ マンモグラフィ検査
 結果 異常なし ・ 精密検査の結果、異常なし
 精密検査の結果、(____) ・ その他(____)

2. 乳房について
 痛みは、 なし ・ あり (右 ・ 左、いつから____、月経前に痛む ・ いつでも痛む)
 しこりは、 なし ・ あり (右 ・ 左、いつから____)
 乳首の変形は、 なし ・ あり (右 ・ 左、いつから____)
 乳首からの異常分泌は、 なし ・ あり (右 ・ 左、いつから____)
 豊胸術(乳房整形)を受けたことは、 なし ・ あり (右 ・ 左、いつ ____ 歳)

3. 今までかかった病気について
 乳腺の病気は、 なし ・ あり (右 ・ 左、乳腺炎・乳腺症・その他、いつ ____ 歳)
 その他の病気は、 なし ・ あり (病名____、いつ ____ 歳)

4. ご家族や親族の方に乳がんや他のがんにかかった方は？
 なし ・ あり (誰____、病名____)

5. 月経について
 最終月経 (____ 月 ____ 日 ~ ____ 日間) で、規則正しい (____ 日型) ・ 不規則
 初潮は (____ 歳)、閉経は (____ 歳)

6. 妊娠について
 妊娠したことは、 なし ・ あり (____ 回)
 出産回数 (____ 回)、流産 (自然流産 ____ 回、人工流産 ____ 回)

出産	出産時 年齢	授乳方法	授乳期間	お乳を無理に 止めたことは
1	歳	母乳・混合・人工	か月	なし ・ あり
2	歳	母乳・混合・人工	か月	なし ・ あり
3	歳	母乳・混合・人工	か月	なし ・ あり
4	歳	母乳・混合・人工	か月	なし ・ あり

乳腺以外のマンモグラフィ検査禁忌者を確認する質問項目がありません。

- ・ベースメーカー挿入者
- ・V-Pシャント
- ・授乳中
- ・妊娠中→放射線を使用する検査なので、確認は必須です。

質問項目にされる方が良いと思います。

乳腺の病気で「乳がん」が含まれていません。
 また、乳腺の手術歴は必要であると思います。

自然流産・人工流産の回数を聴取する目的はなんですか？
 マンモグラフィの判定に特に必要ない項目だと思われます。
 (プライバシー保護の観点からも不要ではないでしょうか。)

出産歴や授乳期間を詳細に聴取する目的はなんですか？
 母乳・混合・人工の人数のみの聴取でよいと思います。

必要な項目や不要な項目を
理由を記載し説明

精検受診率向上のための支援

精検受診率の向上は、どの市町村においても課題となっていると思います。精度管理センターでは、ヒアリングを行いながら、課題を抽出し必要な支援を行います。



プロセス指標を分析し、課題・対応策について検討

検診機関に差がないか？未受診が多いのか？未把握が多いのか？

分析結果から考えられる解決策の提案

担当業務フローや実施要領、把握様式の確認等

数値が悪い＝必ず何か要因があります。改善には長いスパンが必要ですが、取り組めば必ず改善していきます！

大阪府では、「がん検診部会」より、精検受診率の低い市町村に毎年、改善を促す通知文を発出しています。該当の市は、一緒に考えていきましょう。

部会で審議し、文書発出されたもの

発出年	発出文書名	内容
H23.6.1 (健第1446号)	乳がん検診における検査内容及び検査結果方法の改善について（依頼）	指針に基づいた検診実施と結果通知内容について
H25.2.19 (健第3295号)	大腸がん検診及びその精密検査のあり方について（依頼）	無症状者への検診実施、指針に基づいた精密検査の実施
H25.10.18 (健第2770号)	乳がん検診の実施について（依頼）	隔年検診実施と二重読影実施について
H30.10.25 (健第2133号)	「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」に基づくがん検診の実施について（通知）	指針に基づいたがん検診実施について通知

電話相談

がん検診の担当者から日々、様々なご質問を頂いています。例えば...

地域保健報告への計上について

- ・子宮がん検診で判定不能となった場合は？
- ・大腸がん検診の精密検査で大腸CT検査を受診している場合は？

がんの精度管理について

- ・乳がんのマンモグラフィ検査の施設認定って？

新型コロナワクチン接種に伴う反応性リンパ節腫大について

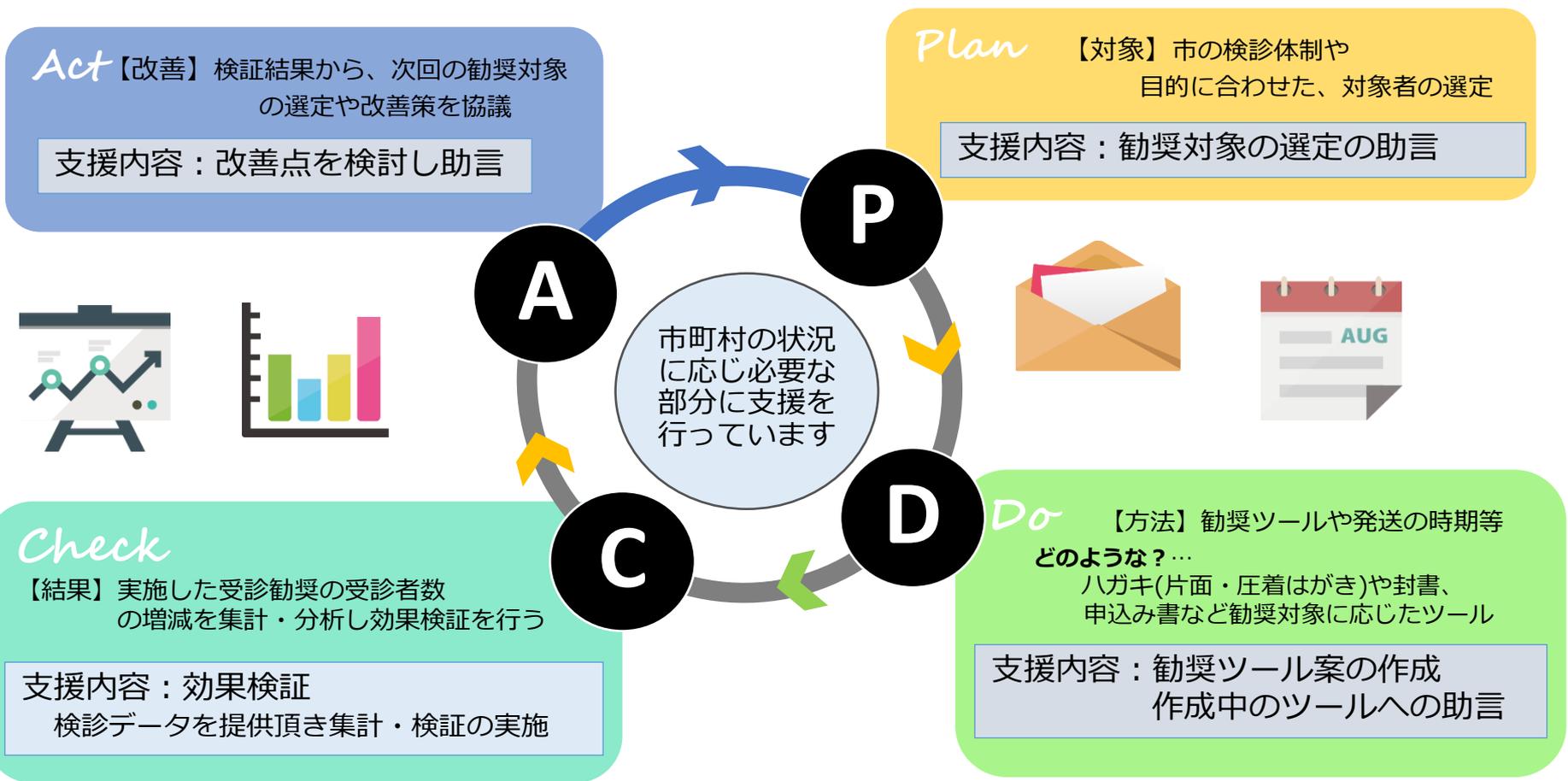
- ・検診は受診しない方がよいの？
- ・どのように周知したらよいの？

年度	質問数	市町村数
平成30年	131	34
令和1年	113	33
令和2年	112	29
令和3年	102	28
令和4年	143	37

府内の全市町村から、お電話いただいています。

個別受診勧奨推進のための支援

個別受診勧奨の支援では、市町村と協力しながら受診率向上をめざしています。市町村の検診体制により、効果的な内容や方法はそれぞれ異なります。精度管理センターでは、市町村の要望や現状をヒアリングしながら、適切な方法を検討していきます。



“がん予防キャンペーン大阪”について



今日からはじめる プレストアウェアネス

プレストアウェアネスとは、
ご自分の乳房の状態で日頃から関心を持ち、
「乳房を意識した生活」を送ること。
乳がんの早期発見・早期治療につながる
大切な生活習慣を身につけましょう。

Cancer prevention campaign Osaka
がん予防キャンペーン大阪
事務局：〒536-8000 大阪市東区東区2-1-6-107 大阪がん検診啓発センター内
<http://www.osaka-ganjun.jp/>

2013.8

プレストアウェアネスの4つのポイント

自分の乳房に関する関心や意識を高め、気づくことがあれば、すぐに医療機関を受診するという正しい行動を身につけましょう。

- 2年に1回 ワンモリタフ・検査日
→ 自分と日本人の間に自分の乳房を差別はしないように、つまずき、動揺を減らすように動かし、
- 40歳になったら、2年に1回 乳がん検診を受診
→ 見て、触って、感じる
- 乳房の変化に気づいたらすぐ相談へ
→ 乳房の変化に気づいたら、すぐに医療機関(乳腺科)を受診しましょう。
- 乳房の変化に気づける
→ チェックすべき変化：腫瘍の存在、乳房の浮腫物(かたまり)、乳房の皮膚のこみや凹凸(くぼみ)

乳房の変化を知るためには
入浴時やシャワーの時に、「いつもと変わった気がする」という気づきで自分の乳房を触って、感じましょう。

毎日の生活で、ご自分の乳房を少し意識してみてください。

●乳がんとは何ぞ? ●乳がんの検査 ●乳がんの予防

がん予防キャンペーン大阪

日本人の2人に1人が、がんになっています。
がん検診で、早期発見・早期治療!

胃がん検診

50歳以上の男女
2年に1回
問診・胃部X線検査 または 胃内視鏡検査

◎問診(問診検査)
胃を診させる問診票を本人に記入(口の中、舌の裏)を飲み、カメラを挿入して胃の内臓をX線で撮影します。胃の病気の発生が分るので、胃がんだけでなく、潰瘍やポリープなども発見できます。

◎胃内視鏡検査
胃の中を内視鏡で直接観察する検査です。胃がんの発生部位があった場合、腫瘍の一部を採取して病理検査で調べることがあります。

大腸がん検診

40歳以上の男女
1年に1回
問診・便潜血検査

◎便潜血検査
便中の検査薬液に少量の便を採取して反応します。便中に出血の検査を調べます。大腸がんやポリープなどの発見できます。

※検査薬液と書かれたら、大腸内視鏡検査を受けましょう。

肺がん検診

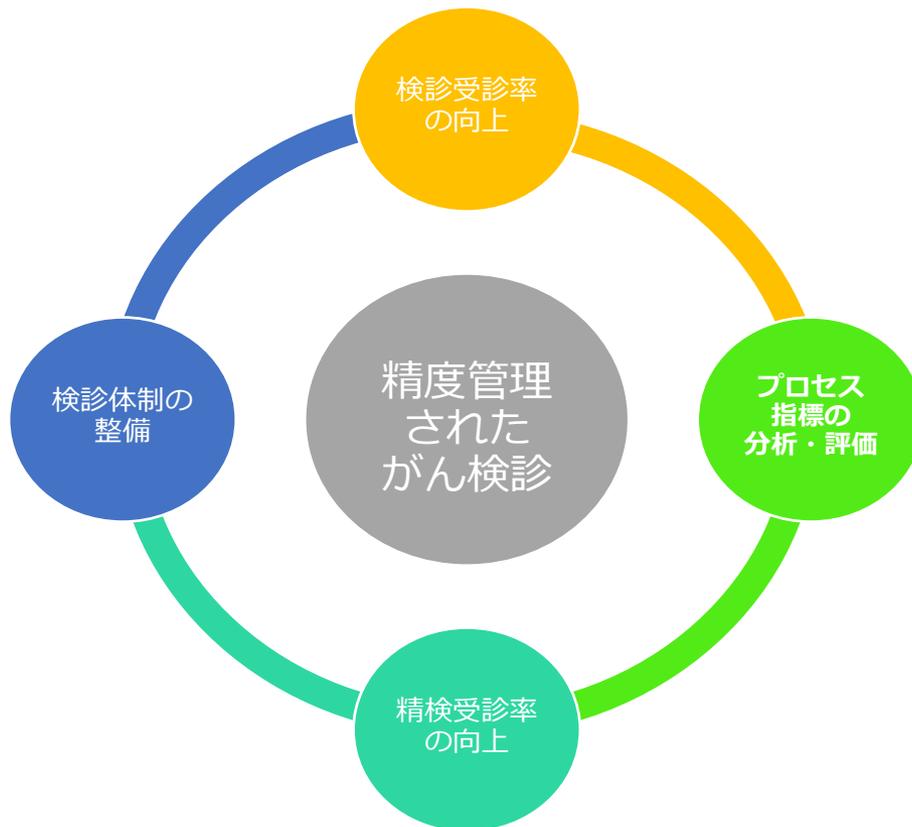
40歳以上の男女
1年に1回
問診・胸部X線検査(低線量胸部CT検査)

◎胸部X線検査
X線で肺全体を撮影します。肺がん(早期)にできるがんの発見に役立ちます。

◎胸部CT検査
胸部を断面で撮影して、肺がんの発見に役立ちます。大腸がんで見つけない肺がん(早期)にできるがんの発見に役立ちます。

がん予防キャンペーン大阪
<http://www.osaka-ganjun.jp>

精度管理された“がん検診”を目指して



一緒に考え、課題を解決することで一歩ずつ前進したいと思っています。